

会 議 録

会 議 の 名 称	平成２３年度 第１回地域協議会
開 催 日 時	平成２３年５月３０日 午後１時３０分から
開 催 場 所	福祉会館２階「大会議室」
出席者氏名	委員 (２０名) 五十嵐徳、佐藤政一、佐藤允尚、佐藤洋一、土田稔、正木正（会長）、 小番より子、佐々木知栄、佐藤公、土田克夫、土田典子、茂木美寶子、 伊豆秀一、小番けい子、佐藤孝義（副会長）、佐藤久美、佐藤嘉孝、 豊島一郎、菅原賢一、蒲田則夫 由利本荘市 (１１名) (矢島総合支所) 総合支所長 土田武弥、市民福祉課長 佐藤勝一、産業課長 泉谷健一、 建設課長 佐々木聡、教育学習課長 佐々木正人、 (事務局・・・振興課) 振興課長 佐藤義雄、参事 三浦芳春、主席主査 三森隆、 主席主査 三浦浩喜、主任 佐々木光彦
欠席委員氏名 (９名)	小沼文夫、大井仁史、佐藤系悦、佐藤伸一、土田長夫、原田浩司、 茂木昭二郎、茂木保、岸田良子、佐藤寿美子、
会議次第	１．開会 ２．会長あいさつ ３．矢島総合支所長あいさつ ４．協議 ○平成２３年度 矢島地域の行事予定について ○平成２３年度 矢島地域の主要事業について ○地域づくり推進事業について ○今年度の地域協議会の持ち方について ５．その他 ６．閉会
会 議 の 経 過	別紙のとおり

平成23年度 第1回地域協議会

1. 開 会 13:30～（進行：矢島総合支所 振興課長）

2. 会長あいさつ

●正木会長

ご苦勞様でございます。時期的には農作業も一段落という時期を迎えておりまして皆さん何かとお忙しい中ご参集いただきましてありがとうございます。月並みなことを申し上げますと今年は本当に豪雪にみまわれ、そして3月の11日の大震災というような立て続けのアクシデントがありまして本当に戸惑いを隠せない状態であります。いずれにしても未曾有のこの大災害ということについては本当に痛ましいことでありますし、やっぱり我々地域に置き換えてみれば、ぞっとするような思いのするわけでございます。いずれ、いち早い復興をなしとげてほしいなというふうに願っております。つきましては、今回平成23年度の第1回の地域協議会に入るわけでございますが、前回の地域協議会においては23年度の地域要望という地域づくり推進事業の要望書等の写しを皆さんに提示いたしまして見ていただいたわけでございます。その際にまた色々の地域作り推進事業にあらず、やはり公共的な広域的な話題も必要ではないかというようなことで、皆さんに要望書の提出をお願いしてあるわけでございました。だいたひ皆様も感心をもたれている部分がありまして一応事務局にはまとめておりますが、今後会議については地域協議会とあいまってこの広域的なことにつきましても皆さんとご協議をして課題解決にむけて協議をしまいたいというふうに考えておりますので、よろしくひとつお願いしたいと思います。前回出しかねた方というものはまだ時間的な余裕があるかと思っておりますのでその点についてはまた再度皆さんとご協議の上で決定をしまいたいというふうに思っておりますので、よろしくお願いいたします。今日の会議について寛大なご理解をいただきますようお願いを申し上げまして開会の挨拶に代えたいと思います。よろしくお願い致します。

3. 矢島総合支所長あいさつ

●土田矢島総合支所長

皆さんご苦勞様でございます。今日は第1回矢島地域協議会にご参加いただきましてどうもありがとうございます。4月からこの立場にならせていただきましたけれども、昨年まで2年間振興課で皆さんと一緒に地域協議会の方の事務を担当させていただきましたので、引き続きよろしくお願いしたいと思います。それから3月の17日に地域協議会を開催する旨で通知を出していただきましたけれども、大震災等の影響もありまして延ばさせていただきました。本当はもう少し早く開ければよかったわけですが、なかなか時間もとれなく申し訳なく思っております。先ほど会長さんからもありましたとおり今年は豪雪そして震災とそして春先からあまり天候も不順な状況でありまして農作業等それまでも、やはり例年になく遅れがあるというふうに感じております。ただ稲作に関しましては夏分の高温障害等のこともありますので、若干作業等は例年よりは、延びるんじゃないかと思っておりますけれども、もしかすればちょうどいいかたちに結果がなればいいなというふうに感じております。今回本庁の方からくる予定でしたけれどもちょうど議会がありまして一般質問等それら答弁調整等もありまして今回本庁の方からは出席いたしかねますということで連絡ありましたので、矢島総合支所だけの対応になりますけれどもよろしくお願いしたいと思います。次の第2回目の協議会等におきましては改めて本庁の方からも来るかというふうに思っております。今、市長といいますかそちらの方から特別案件として出てきているわけではありませんけ

れども、これから予定されるもので、今、行革の中で検討しております公の施設の使用料の見直し等というのが今検討されておまして、たぶんその案件について議会の方にも説明が今定例会中にあるかと思います。それらを終えた後で地域協議会の方にもたぶん説明がなされるかと思うので、まだ概要等も把握しておりませんがいずれそういう予定になるのではないかなというふうに思っております。それから4月で人事異動によりまして支所の管理職等も一部替わっておりますので私の方から名前等を紹介したいと思います。振興課長として本庁の方から戻りました佐藤義雄です。それから建設課長に本庁の建設管理課の方から来ました佐々木課長です。それから市民福祉課長で前教育学習課長の佐藤勝一です。それから教育学習課長で前産業課におりました佐々木正人です。以上ですけれども今後ともよろしくお願いいたします。

4. 協議

●正木会長

それではさっそく4番の協議に入りたいと思います。平成23年度の矢島地域の行事予定につきまして事務局の方から説明をお願いいたします。

●佐藤振興課長

そうすれば私の方から矢島地域の行事予定につきまして、おおまかにご説明をさせていただきます。資料の1ページ、2ページ、表紙をめくりまして1ページ、2ページをご覧くださいと思います。座ったままでご説明させていただきます。見てのとおり記載のとおりでありますけれども、昨日、一昨日と鳥海高原菜の花祭りが豪雪の影響もありまして当初予定より1週間延ばしまして遅れて開催をされております。そして今日、第1回地域協議会を開催させていただいております。6月ですけども、4日、土曜日ですけども敬老会が行われます。対象者は5月26日現在で1,098人ということであります。7月ですけども消防大会が行われます。3日には消防矢島師団の代表選考会、それから17日には由利本荘市消防訓練大会が岩城の消防学校で行われます。23日には本荘由利支部代表選考会が行われます。3日の矢島支団は小学校のグラウンドで行います。それから23日、24日ですけども25回目となりますマウント鳥海バイシクルクラシック大会が開催されます。3月の大震災で心配しておりましたが、今のところ多くの選手に応募いただいているとのことあります。あと、31日には鳥海山遊登山を予定しておるところであります。8月に入りましてインターハイのソフトボール女子会場として9日、10日にわたりまして、野球場といえますか、そこで大会が開催されます。由利本荘市としてはサッカー、ソフトボール男女の競技が行われることになっております。あと当初なかったのですけれども、ヨット競技が当初予定の岩手県宮古市ですが、今回の震災で開催できないということで、由利本荘市でやることに決まっております。この間新聞にのりましたが、担当の先生が委員会の方にて今、事務を執られているということあります。また8月の日時は未定ですけども第2回の地域協議会を予定しているところあります。9月に入りますと10日、11日が八朔祭りということあります。10月ですけども9日に由利高原鉄道特産品祭り。29～30日には産業文化祭を予定しておるところあります。また、これも日程は未定ですけども、東証上場の森植樹祭を予定しているところあります。11月ですけども、第3回の地域協議会を予定しております。12月に入りまして17日鳥海高原矢島スキー場のオープンを予定しております。年が変わりまして1月になりますが、5日に消防出初め式。これは10月末に開館予定の文化交流館カダーレでの初めての出初め式ということで開催の予定であります。7日、8日には28回目となりますエランカップジャイアントスラロームスキー大会が予定されております。同じく8日ですけども、同じくカダーレで成人式が行われることとなっております。2月ですけども、11日矢島冬祭り、酒蔵開放。そして4月8日までの間

で由利本荘ひな街道が開催されます。その期間中の3月には矢島ひな巡りも例年であれば開催されるものと思っております。26日が第2回市民スキー大会。また、日時未定ですが第4回の地域協議会を予定しておるところであります。3月に入りますと10日に中学校、16日に小学校の卒業式が予定されているということでもあります。おおまかではありますが主な行事予定ということで以上であります。

●正木会長

このことにつきましては色々日程的な状況で流れていくと思いますので、これくらいで止めたいと思います。次に23年度の矢島地域の主要事業についてお願いいたします。

●佐藤振興課長

それでは、これにつきましてはそれぞれ各担当課長の方から分担して説明をさせていただきます。それでは資料の3ページ、4ページですが、別様にしてみなさんに由利本荘市主要プロジェクトの概要ということで差し上げております。これは由利本荘市全体のプロジェクト、それから各地域のプロジェクトということで記載されておりますので、後ほどご参照いただければありがたいなと思っておりますので、よろしくお願いいたします。それでは3ページ、4ページ矢島地域の主要事業ということで説明をさせていただきます。最初に振興課関係であります。番号1から4番までが振興課の関係となっております。番号1の消防利水整備事業ですが、耐震性貯水槽1基を設置するものでありまして事業費は6,904,000円となっております。場所は旧矢島高校セミナーハウス跡地の小学校の体育館側のところを予定しております。昨年実際希望される地域がなかったものですから現在設備的に薄いといえますか、言葉が適当でないかもしれませんが、設備的にちょっと不足しているということで矢島地域を選ばせていただいて今予定しているところでもあります。それから番号2の地籍調査事業ですが、これは何十年という継続事業でありますけれども、今年は立石地区の5字を対象に行います。換算面積1.39km²とありますが、実際の調査面積は3.01km²。事業費が21,016,000円となっております。第1計画としまして昨年実地調査を行いました持子山、沢ノ内、山田の3字ということであります。第2計画、今年一筆地調査となります字が上野平と松沢の2字であります。調査面積が1.30km²となっております。2年目に入ると測量しまして面積出して認証ということでありますが、昨年2年目に入った所、実は3月で国の認証を受ける予定でありましたが、あのような今年大震災がありまして国の方からちょっと書類をまってくれということで、現在のところ去年度、今年3月認証を受ける地域の分が今のところまだ法務局に行っていないような状況になっております。もうちょっと時間をいただかないといけないかなということになっております。ただ今年、測量はやっていくということなので去年入ったところは測量しますが、認証に関しましては少し時間をいただかないといけないなと思っているところでもあります。あと番号3と4ですがこれは交付金事業、きめ細かな交付金事業ということで予算を国からいただいた事業でありますけれども、22年度からの繰越し事業ということであります。一つは総合支所の非常用階段の修繕費4,400,000円。それからもう一つが家中に2棟あります市の所有住宅の内の1棟。小学校のプールに入る上がり際の方の家、小さい方の解体工事費の1,000,000円ということでお願いをしているところでもあります。あとこれには事業の一覧表に記載されておられませんけれども昨年に引き続き地域づくり推進事業として市民団体の地域づくり活動に対しまして3,000,000円を支援するというところであります。以上が振興課関係の主要事業であります。

●土田矢島総合支所長

すみません。一つ補足させてください。由利本荘市の主要プロジェクト等については概要等少し後で補足したいと思います。それから今、振興課の方で説明ありました庁舎の非常用階段の改修の件ですが、きめ細かな事業ということで昨年の補正で要求してついているわけですが、今年度、耐震診断ということで、ここの福祉会館を耐震診断する予定でありましたけれども、福祉会館の耐震診断を来年度以降にやるということになりまして、総合支所の庁舎を今年度耐震診断をすることとなりました。それにともないまして、結果は今年度中と言いますか今年中に出るかと思いたすけれども、その結果に応じてもし補強が必要だというふうなかたちになれば、手を加えなければなりませんので、今回出しております非常階段の補修について一応予算はついていますけれども、今年度不要額というふうなかたちでなされる見込みです。この事業については国の補助事業で耐震診断をやる関係もありまして今年度その結果が出れば補修が必要だ、あるいは解体が必要だ、というふうな結果で判断されれば、来年度にはその事業をやらなければならないという、そういう制約が出てきますので、それについては結果をみてからの判断になるかと思いたす。

●佐藤市民福祉課長

それでは市民福祉課の方から若干説明をいたします。3ページに書かれてあるものですが、来月、6月4日、今度の土曜日ですけれども敬老会が行われます。対象者は75歳以上で5月26日現在の対象者1,098人でございます。予定としては350名ほどの参加者を予定しております。皆様、特に各ボランティアの皆様、それから婦人会等の皆様には非常に色々ご協力いただいておりますけれども、今年もよろしく願いいたします。それから、次の6番、7番、福寿荘と斎場の修繕ということで行われる予定でございます。その他、市民福祉課担当のものではプロジェクトの概要等にも書かれておりますけれども、これらに目を通していただきまして、例えば検診等事業におきましてはガン検診というものが非常に大きなテーマとして市では事業を行われておりますので、受診の推進ということでご協力いただきたいというふうに考えております。それから広報等でもありますが、節電、エアコンをあまり使わないようにということで、ゴウヤの栽培とか緑のカーテン、そういった事業等も予定されておりますので、現在広報等にも載せてその募集をしています。そういったものをどんどんご利用いただきたいというふうに思いたす。私からは簡単ですが説明を終わります。

●泉谷産業課長

引き続きまして産業課関係をご説明いたします。資料の方の8番から15番まででございます。8番の夢プランですけれども、竜胆栽培の方、おかげさまで好評いただいております、栽培面積等が増加しております。これらを支援するものでございます。9番の根洗場線の林道舗装。砂利の部分の簡易的のものでございますが舗装を行うというものです。市有林の管理事業につきましては例年どおりのかたちでおこないます。11番から15番までは22年度の繰り越し事業で、きめ細かな交付金ということでやりますけれども、11番バイオセンターこちらにつきましては、尿処理関係の設備が、修繕が必要ということで行うものでございます。それから12番の花立の体育館ですけれども、体育館の中の床が、痛みが激しいということと、それから外壁等も一部壊れているところがあるということでこれらを修繕いたします。それから13、花立のクリーンハイツですけれども、こちらの方、今年の4月から食堂部門の営業を休止しております。それに伴います内装の改装と、それから外部からの階段を一部取り付けるというかたちのものです。それから14番のユースプラトーの修繕は、ユースプラトーの中の設備関係こちらのものを修繕するというものでございます。それから15番の花立子供の国のゴーカートですけれども平成12年にゴーカート導入いたしま

して、今まで運用していますけれども、やはり年数の経過とともに修繕が著しくかかるということで、今年度ゴーカート6台を新しく更新するということで、7月後半には新しい車が入りまして皆さんに楽しんでいただけるとこういう風な段取りになっております。以上でございます。

●佐々木建設課長

それでは、私の方から建設関係16番から19番になりますけれども簡単にご説明申し上げます。一点目が市道坂之下線の拡幅改良でございますけれども、これにつきましては昨年に引き続きまして道路改良しながら防雪柵の設置をする予定でございます、11月ぐらいを完成を目標に現在発注の準備を進めているところでございます。それから2点目ですけれども舗装修繕でございますけれども、熊之子沢線ほか1路線約1kmでございますけれども、かなり舗装が傷んでおりますので、舗装のオーバーレイをする予定となっております。それから3点目は棚ノ木田住宅のところでございますけれども現在進入路が1カ所しかないということで色々不便をおかけしてまして、現在ある反対側の導水路を活用しまして6m程度の進入道路等を整備する予定となっております。それから4点目は田沢川でございますけれども、かなり土砂等が堆積しまして流れを阻害しておりますので、水が少なくなった時をみまして浚渫等を行う予定になってございます。それから参考までに、現在つかんでいる範囲で情報提供ということで国道108号がらみの、国県の事業でございますけれども紹介したいと思います。一点目につきましては前杉バイパスでございますけれども、これは27年度の共用開始を目標に引き続き橋梁等々の整備をする予定となっております。また、前杉につきましては一部隣接地に小田住宅、市営住宅があるわけですが、4戸につきまして取り付け道路の関係で支障になりまして、移転等が必要だということで現在県の担当の方等々と入居者の方々と移転に向けました交渉を進めておりまして、年度内には移転を終了する予定でございます。それから道仏坂工区につきましては、今年度で道路改良につきましては完成予定となっております。それから昨年等々要望ありました曲淵の交差点改良でございますけれども、これにつきましては今年度一部交差点の守備と伺っておりますが、局部的に交通安全等の見通しの確保等々の改良をしていただける旨を伺ってございます。それから一点課題として残っておりますが、現在の108号スノーシートがある所ですが、いずれ前杉バイパスが完成後には市の方へ所管替えというような話できておりまして、今年度中にはそういった所管替えに向かいました管理運営等につきましての検討を、見通しをされたいというようなことで伺ってございます。私の方からは以上でございます。

●佐々木教育学習課長

そうすれば、最後の方になりましたけれども教育学習課関係、番号で20番から23番目というふうになっております。20番につきましては市の指定されております義烈良民の墓の環境整備事業ということで、新町地区にある墓の環境整備ということであります。内容といたしましては地域の環境ということは、そこにあります霊屋の修理ということで、事業費ベースとしては市の補助金を載せております。残り半分につきましては新町地域の方々が自己負担なり祭祀関係者の方々に寄付をお願いしているようです。由利本荘市の方に入金が半分ということです。それから21番～23番目につきましてはきめ細かな交付金事業で繰り越し事業ということで、今年度行うということで、日新館のトイレの洋式化と青少年ホームのトイレの洋式化、それから小学校の食器洗浄機、給食設備の備品の購入ということで、これについては現在発注予定で準備をしております。簡単ですけども以上です。

●正木会長

これが矢島町の主要事業であります、由利本荘市との取引の関係で何か説明がありますか。

●土田矢島総合支所長

そうすれば、皆さんお手元に配りました由利本荘市主要プロジェクトの概要というので、詳細にはちょっと時間が掛かりますので、おおまかなところだけご説明申し上げたいと思います。平成23年度の由利本荘市の一般会計の当初予算とすれば44,270,000,000円となっておりまして前年度よりは3,110,000,000円、約6.6%の減となっております。特別会計、企業会計を合わせました総額ですけれども、一般会計も含めてですが合わせますと66,935,000,000円、2,911,000,000円で4.2%の減というふうなかたちになっております。広報等で皆さん内容等についてはご承知かと思っておりますけれども、由利本荘市の総合発展計画における7つの施策の大綱ごとにかかれておりますので、その中から若干説明したいと思います。その一つで地域に開かれた住民自治の町づくりということで、地域協議会、地域懇談会等ということで市長とのふれあいトーク等も含めて開催するかたちになってございます。(3)の地域づくり推進事業、これは昨年度も皆さんから色々ご審議いただきまして矢島地域のものについては3月にも審理したとおりでありますけれども、その確認の意味で前回の協議会でも話しする予定ありましたが、延びた関係もございまして今回改めて皆さんに資料として出す予定でございます。その時に各地域の方のどういう事業が出ているかについても今資料を準備しておりますので、よろしくお願いしたいと思います。今まで各地域3,000,000円でありましたが23年度からは旧本荘地域といいますか本荘地域の方が5,000,000円というふうな総額の補助金になってございます。それから2の活力と賑わいのある町づくりということで今回もいろんな事業等で新規の事業もかなり載っております。中でも菓子工場管理事業というふうなことで、これは企業誘致あるいは工場増設等を希望する企業等に対して貸し出しをするという、そういった事業で新規事業として行われることとなっております。それから観光関係事業につきましては各種イベント等に対する補助金等も多く含まれておりまして、矢島地域でもサイクルロードレースだとか、あるいは菜の花祭り等の新しい事業にも補助がつけられてございます。それから新規事業といたしまして、地域おこし協力事業ということで、2ページになりますけれども、地域おこしをやろうということで、これは地域おこし隊ということで公募して今現在3人の方が委嘱といいますか、採用になっておりますが、地域おこし協力隊というものが新たに発足してございます。この担当課につきましては地域おこし課と言う所とそれから観光の方との連携事業でやるかたちになってございます。それから農業関連事業につきましては先ほど産業課長からも話しありました農業夢プランに対する畜産関係の事業、あるいは農政関係の事業等が組み込まれております。それから由利牛の振興体制整備事業ということで今年度由利高原のふれあい農場の公社化というのを、今調査費をつけて検討をされております。そして平成24年度には秋田県の統合家畜市場が開設されますので、それらを合わせて改めて地域ブランドである秋田由利牛の振興をはかるというのをフラッグ等にしております。それから、排水強化事業補助金ということで、これはもみ殻暗渠等に対して補助ですけれども、これも新規に行うこととしてございます。それから林業の関連事業ということですけれども、由利本荘市とすれば市有林の管理につきましては直営と、それから作業の委託というふうなかたちでやっておりますけれども、市有林の管理につきましても、今年度から一部ではありますけれども、管理そのものについて民間の方に一部委託をしてその結果をふまえて拡大していきたいというふうなかたちで、今年度から事業が予定されております。それから次のページの3のすこやかさとやさしさあふれる健康福祉のまちづくりとうことで市民の健康づくりの指針であります健康由利本荘21計画をベースに事業を推進していこうということで、先ほど市民福祉課長からも話しありましたように、

住民皆検診事業等いろんな各種事業等を進めていくこととしております。福祉医療費あるいは入院医療費の無料化というのもここに書いてありますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。それから矢島の方でまだ行われておりませんが、13番目の地域ミニデイサービス事業ということで、これは定住自立圏構想の事業の一環でありますけれども、この事業も各地域の方に拡大して行きたいというふうなことで、額は少額ですけどもこういうかたちで進めていきたいというふうになってございます。次のページの4の恵まれた自然とやすらぎのある環境共生のまちづくりということで、先ほどありました消防あるいは道路関係につきましては、矢島地域の方はお話ししましたが、昨年度に引き続きまして(2)にあります住宅リフォームの資金助成事業が継続してやられます。昨年度よりも使いやすくなるということで、今年度は30万円以上の工事費から該当させることとしております。昨年までは50万円以上というかたちでしたので、今年度は30万円以上の工事費ということでより使いやすい、あるいは利用しやすいようにということで額等も軽減されてございます。それから集落排水あるいは簡易水道あるいは上水道等の関連につきましては、昨年地域協議会の中でもご説明してありますけれども、今年度から4月から簡易水道含め上水道料金、それから集落排水を含めた下水道料金等についても使用料等が統一されてございます。3年をめぐりに順次3分の1ずつ改定しながら、ということで説明をしておりますけれども、今年度がその初年度ということで4月から実施されているところでございます。それから11番のごみ処理の関連事業ですけども、この中にゴミ処理施設整備事業ということで施設整備方針の検討作定ということで、今年度中にゴミ処理場のゴミ処理の軽減なり適正処理というのはもちろんですけども、中長期的なかたちでどういうふうにするかというのを今年度中に整備方針を定めるというふうなかたちになってございます。5番目の豊かな心と文化を育むまちづくりということですけども教育環境の整備ということに関しましては、この4月に東由利地域で小学校が統合なりまして、東由利小学校として開校しております。そして、(1)と(2)に書いてありますとおり鳥海地域、岩城地域と松ヶ崎地区のそれぞれ統合小学校等が建築に向けて進んでいるところでございます。それから、次のページになりますけれども、ここに図書館移転事業いうかたちで書いてありますけれども、皆さんご承知のとおり旧由利組合総合病院跡地に今、文化交流館ということで、カダーレというもので今、愛称を付けておりますけれども、12月19日にオープンとなっております。この施設につきましては、一般の方にも施設を開放するというふうなこともありましたけれども、多機能を有する文化ホール、それから図書館だとか、公民館関係施設あるいは教育センター、そして、市長が話しをもって来まして観光物産機能も備えたそういう複合施設が、会館予定が10月末ということで計画されております。実際にはちょっと今の震災の関連で事業が遅れるかどうかちょっと判断つきませんが、若干遅れるというふうな可能性もあるようですけれども、いずれ6月の議会中にはある程度方向付けが出されるのではないかなというふうに思っております。それから7番に水林球場の改修事業ということで、水林球場が今回、人工芝の野球場に改装されるということで、これは全県では初めての事業になるかと思ひます。あと道路改良等につきましては先ほど建設課長が国道バイパス等の話しもされておりましたので、ここでは特別申し上げはいたしません。それから、今年度も組織機構の改正ということですけども、行財政改革による健全なまちづくりの中の一番最後になりますけれども、新たに課の名称なりそういったものが変わってございます。大きく言いますと、今まで秘書課が企画調整部の中にあつたのですが、それが総務部の中に入りました。それから企画調整課の名称が変わりまして総合政策課に変わっておりますし、企画調整課の中に情報管理班というのがあつたんですが、それがすべての本荘地域内といいますか、各地域の情報管理等のものもすべて網羅するというので、改めて情報管理課というものが設置されております。それから、地域協議会の本庁の担当課が今までは地域振興課でしたけれども、それが地域おこし課ということに名称が変わりまして、その中に先ほどお話ししました新たなその地域おこし協力隊本部とうもの

が、その課の中に設置されております。それから、ケーブルテレビですけれども、ケーブルテレビにおきましても、ソフト事業の強化ということで、当然ケーブルテレビの加入率の向上ということも含めてでございますけれども、センターの職員も増員になってございます。それから、次のページ、定住自立圏構想の推進ということで（１）のＣのところには遠隔地域用再来受診受付システムということで、２２年度中には矢島地域、鳥海、東由利地域がもうすでに稼働済みですけれども、平成２３年度につきましては旧本荘市を除いた４地域が今年度予定されております。大雑把な説明になりましたけれどもおおよその概要等について説明を終わらせていただきます。

●正木会長

それでは２３年度の矢島町地域主要事業、事業費の資料ということで概要等説明いただきましたが、もしこの関連でもっとこの部分をお聞きしたいというのがありましたら、委員の方々からあげたいと思いますが、ございますか。なければ次に進みたいと思いますが、いいでしょうか。

● 委員全体

いいです。

●正木会長

それでは次に、地域づくり推進事業についてを議題といたしますが、その点の一つ説明が必要だとすればよろしくお願いします。

● 事務局

それでは、私の方から平成２３年度の矢島地域の地域づくり推進事業のこれまでの経過等につきまして簡単にご説明いたしたいと思います。資料の方は５ページ、６ページになります。矢島地域の今年度の地域づくり推進事業につきましては全部で１０事業ということで計画されております。この内、現段階で実施されたものが４事業ございます。４事業と言いますのは、まず２番の鳥海山麓線に鯉のぼりを泳がす。こちらの方の事業これにつきましては支援予定額１０万円というふうになってございますけれども、これは矢島地域それから由利地域、本荘地域と３地域の合同事業となっております、この１０万円というのは矢島地域の分の金額になってございます。由利地域が１０万円、それから本荘地域が５万円ということで、合わせて２５万円の支援金額となっております、こちらの方はもう事業の方済みでありまして、皆さんご覧になっておられるかと思いますが、各ビューポイントに鯉のぼりが泳いでございます。それから次に５番の鳥海山スノーサーフイベント、こちらの方もゴールデンウィークに実施されてございます。新しい事業ということで結構注目されておったようでして、なかなか反響が多かったというふうに聞いております。それから８番の丸亀市文化交流観光事業こちらの方も５月の始めに終了してございます。それからもう一つ１０番のバイオマス資源の利活用推進事業ということで、こちらの方も事業が実施済みとなっております、報告の方も上がって来てございます。終わっているのはこの４事業でございますけれども、じつは９番の生駒顕彰会１０周年記念事業、こちらにつきましては備考のところにありますとおり見送りということになってございます。地震の関係等が影響したようなお話を伺ってございますけれども、現在のところこの５月の１５、１６に予定されておったこの事業につきましては、今年度はちょっとできないというふうに聞いております。それで、本庁の方にも確認いたしましたけれども、しからば、この予定されていた５０万円というのは他の事業に振り分けたりしてもいいのか、ということを確認いたしましたところ、まず事業の計画として上がっているもの以外のものにつ

いては新規で興すことはちょっと認められないと、もしこの事業主体である生駒顕彰会さんの方が同一の事業目的の中で違う内容をやるというものであれば変更も可能であるけれども、他の団体に振り分けることは認められないというようなことでしたので、残念だなと思ってございます。地域づくり推進事業に関しましては簡単ですが以上です。

●正木会長

このことにつきまして既に前回でもご審議いただいておりますので、これは今後、流れの中で実施されるということだろうと思います。色々地域の活性化に役だってほしいなという願いもありますし、継続は力だというふうに言われておりますので、グレードの高いものに結果を求めたいなというふうに思います。この点について何か皆さんからご意見ご質問ございますか。私から聞くのもなんですが、丸亀市の関係を5月に補助事業やったようですが、概略的にどういう催しを実施された経過などご報告していただければありがたいな。今日は特別、報告書は出てないでしょ。

●事務局

報告書はできあがっております、その報告書も本庁の方にも提出済みでございます。本日そちらの方もご準備できればよろしかったのですが、申し訳ございません。本日はちょっと準備してございませんでした。次回また引き続き経過報告する際に今回の分も合わせてご報告いたしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

●正木会長

何かこの点についてございませんか。無ければまた次に進みたいと思いますがいいでしょうか。次に今年度の地域協議会の持ち方についてという案件をご呈示してありますが、先ほど申し上げましたように前回の話し合いの中にもありましたように、地域づくり推進事業だけにこだわらず、やはり広域的な関連をもった事業というものの、そういうものに取り残されている感もあるというようなご意見もありましたので、委員の方々にそういう要望書の提出をお願いしたいということで、7ページからその要望書の今まで上がった分を整理していただいております。初めて目にすると思いますのでおおかたの方は持ち帰って見ていただくわけですが、一応こういうご提案があるということ事務局側の方から一応朗読方お願いしたいと思います。

●事務局

そうすれば、私の方から朗読させていただきます。まず7ページの方をご覧ください。一つめにつきまして、矢島夏祭りについてでございます。矢島町にとってなくてはならない年1度のイベントなので趣向、内容についてさらにグレードアップを図り、一人でも多くの参加となるよう計画実施してもらいたい。次にどんど焼き、才の神焼きでございます。現在、各町内会単位で行われておりますが、若者会、PTA主体です。年々若者が減少しており継続が難しくなりつつあるので矢島町として1カ所に集めて行いどんど焼きを継続して行く必要があると思います。それからロードレース参加者への宿泊施設の開放について。毎年のロードレースの県外からの参加者の多くは日新館近辺などにテントを張って宿泊している。昨年のロードレース前夜は雨でテントでの宿泊はかなり厳しい状況に見受けられたが、雨天の場合は公共の施設、寿康苑、日新館などを開放してやるのが参加者への思いやりではないだろうか。長泥橋に歩道設置を。主要地方道仁賀保矢島館合線の長泥橋に歩道設置を県当局に要望してはどうか。通学路になっており、また、矢島高校の野球場も近くにあり歩行者もそれなりにあるようです。橋の前後には歩道があり不自然な感じがいたします。それから、消火栓の維持管理について。消火栓の維持管理について市町村合併前は消火栓の近くの方々数名にある程度の管理をしてもらう係として町より委嘱を受けて、各分団と協力して試験放水

などしてきていると理解しております。合併後は部落としてまた消火栓係としてどのように関与して行けばよいのか周知してほしい。あわせて消火栓の箱や中身のホース等の更新時の経費や管理のあり方を周知してほしい。家庭ゴミの焼却禁止の周知徹底。このことについては矢島総合支所より家庭ゴミの焼却禁止に関するチラシや矢島総合支所だよりで数回にわたり周知されましたが、現実には改善されていないのが実態であります。猛毒のダイオキシンの発生に加え悪臭や黒煙に近隣の方々が悩まされております。このような事例は全市にあるように思われます。環境監視員による巡視や指導を強化するとともに、チラシには廃棄物処理法による厳しい罰則規定があること等を掲載した方が良いと思います。本市全体の住みよい地域環境をつくるために最悪の場合は警察の取り締まりも必要ではないでしょうか。単なるゴミの減量化を訴えるだけでなく、表記の事例には厳しく対処していくべきです。ゴミ袋の有料化が起因しているのか、あるいは、焼却して減量化に協力していると勘違いされているのかは分かりませんが。街路灯、防犯灯、装飾街路灯が日中でも点灯している。日中でも点灯している箇所は矢島地域だけでなく本市全体にかなりあります。電力需要は夜間より日中が多いわけですので、行政で維持管理している街路灯が適切に管理されておらず、電力エネルギーの垂れ流しは許されるものではないと考えます。市ではエコ対策等で色々な事業が展開されておられるようですが、機運を高めるためにも行政が率先して早急に修繕するべきものと思います。まずは行政協力員等に調査依頼をする等して実態把握をした方が良いと思います。このようなことを通してさらに市民の環境に対する意識高揚につながることを期待いたします。108号前杉バイパス事業を市民に周知を。現在、前杉バイパスの橋台等が建設中ではありますが、その完成には地域住民が高い関心を寄せております。県当局にルートや完成時期等を看板や広報等で周知されるよう要望してはどうか。消防団員確保について。災害はいつ起きるか分からない現状ですが、災害時に大きな力を発揮する消防団員の確保が年々難しくなっている。以下、加入体制を軽減する。

- 1、勤務会社へ市長による現状の報告と強力な加入協力要請をしてもらう。
- 2、消防団員の身分保証を市議会議員と同等クラスにする。

一級河川子吉川兩岸の支障木伐採について。子吉川水系の河川の兩岸には柳をはじめとして多くの支障木が混在しており、その近くに隣接する水田に日照不足や小枝の散乱で作業に支障をきたしております。由利本荘市としての管轄のものではありませんが、関係機関に申し入れ、計画的な伐採をお願いしたいものです。合わせて個人の耕地に隣接している支障木を勝手に伐採してよいものでしょうか。その点の確認をお願いします。除雪体制のあり方について。矢島町は従来から除雪体制について全県でも先進地的に進めてきております。除雪機械によるオペレーターの技術にしても坂道の多い本町でありながら、均一の道路除雪で他町から来た方も驚いておりました。また、昭和48年から49年にかけての通称ヨンパチ豪雪後、昭和50年代から整備された流雪溝設置により一段と除雪体制の近代化が進んで現在まで来ておりますが、時代も移り特に矢島は人口減そして高齢化、少子化も進んで、依然と同等の除雪方法では支障をきたすような状況も出てきているのが現状です。そこで提案ですが、特に流雪溝等がある区域では降雪量が10cm以下の時は早期除雪をしないことにしたらと思います。ただし、山間地はそのかぎりではないと思います。もちろん流雪溝利用上の問題ですが、早朝5時から6時の利用は健康上からしても、特に高血圧の方、高齢者の方については決して良くないと考えます。この点も合わせて考えるべきと思う。流雪溝があっても今年のような豪雪時は排雪についても計画の見直しを考えてもいいのではないのでしょうか。少子化、人口対策について。この度の地震で思いついたのですが、岩手、宮城県など壊滅的な被害を受けた地域の方々にまずは心からのお見舞いを申し上げたいと存じます。一概にこうした提案が適切かどうかという思いもありますが、現在空き家となっている中で事情が許す場合にもよりますが、行政側、そしてその地域の協力も得ながら家族で受け入れることを提案いたしたく思います。簡単にいかない点は十分に考慮した中で本人との協議了解を得た上で進めることができたらと考えます。今後予想される老人養護施設不足の対応について。現在、矢島町

では老夫婦だけ、または、一人暮らしの老人が年々多くなっております。入りたくても入れない老人養護施設不足を考え、対応していくことが必要だと思います。その一つの方法として、一つ、各集落単位でグループホーム的な共同生活はいかが。一つ、新しく施設は建設しないで集会場や個人宅を利用するのはいかが。一つ、第一段階として日中のみ行うのはいかが。利点につきまして、一つ、お互いが助け合える。一つ、孤独を防げる。一つ、皆と交流することで健康を保てる。一つ、生活費の節減。一つ、安否の確認ができる。重度の介護の必要な方は無理ですが、元気な方が弱い方に少し手を貸してやることで住み慣れた場所で気心の知れたもの同士が支えあって生活できると思うのでご検討をお願いいたします。以上です。

●正木会長

はい。ありがとうございます。多くの委員の方々が居るわけですが、一応今のところ13件がこういうふうにご提案があります。日程的なものもあって出しかねた方々も居るやもしれませんので、次回に向けてそういう部分についても追加提案をしていただければなというふうに考えておるところでございます。いずれ、今後の地域協議会の持ち方ということも含めてですが、いずれ地域づくり推進事業については、既に23年度はスタートしてあるわけですので合わせてこういう地域課題の解決に向けて皆さんとのそれぞれのご議論をかわしていただいて、解決に臨みたいというふうに考えておりますので、具体的には次回にこういう話を深く掘り下げて考えていきたいなというふうに思います。また、委員の方々にも追加してこういう事も考えているというようなご意見があるかと思っておりますので、そういうものも含めて次回に向けてご協議を賜りたいなというふうに考えておりますが、こういう点についての皆さんのご意見も伺いながら次回に向けてまいりたいと思っておりますので、ご意見ご提案などいただければ、ありがたいなというふうに思います。何か皆さんごきげませんか。内容によってはやはり市なり県なりに伺わなければという部分もあるかと思われ、中にはこの地域だけで解決できる問題というものもあります。色々そういう関連、多彩にわたるわけでございますので、今日提示されたものの他にこういうことも気づいたなという方々が居ると思っておりますので、若干そういう時間を設けながら次回にもっと豊富な内容のものにご審議を賜りたいなというふうに思っておりますので、よろしくひとつご提案をお願いしたいと思っております。一応そういう考え方を持っているわけですが、このことについても皆さんからのご意見承りたいなというふうに思っております。何かございませんか。

●豊島一郎委員

今回13件が出されておられるようでありますけれども、ちょうどこれを出す時期が3月ころだったか、かなり忙しいバタバタしている時期でありますので、その後色々こう落ち着いて考えれば普段こう身近な課題とか問題とかあるのではないかなとこのように思います。議長さんがおっしゃられますように、そういう日程でいいのではないかなと私も思っております。したがって1回出した方でもまた追加のものがあれば、あるいは出されていない方でもまた別のものがあればということで、日にちを決めまして次回の協議会の前に出されるようにした方がいいのではないかなと、そのように思います。

●正木会長

今、豊島委員の方からそういうご提案がありました。私もそのような基本的な考え方をもっておりますので、次回に向けて日程的な調整を図りながら、十分な時間を取りながら再度ご提案をいただいて協議することに臨みたいと思っておりますので、こういう考え方でいいでしょうか。

● 委員全体

はい。いいです。

● 正木会長

次回を考えると8月という予定になっておりますが、今ちょうど6月に入るわけですが、6月いっぱいぐらい、一月ぐらいの日程を持てば十分皆さん練り上げていただけるのかなというふうに思いますので、なんとかそのように事務局の方にも取り計らいをいたしますので、よろしくひとつお願いをしたいと思いますが、そういう考え方でいかがでしょうか。

● 委員全体

はい。異議なし。

● 正木会長

なんとか皆さんからすばらしいアイデアを出していただいて、今、地域で取り残されたものを、また再度再生させるということも含めて皆さんにお願いをしたいと思います。いずれ今日この件についてまで掘り下げて議論する時間は無いと思いますので、具体的にかみ砕いて次回の協議会にこれをメインにした協議会を開きたいと考えておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。皆さんからのふるってのご提案をお願いしたいと思います。一応そういう考え方で今日の会議の予定されているものは終えているわけですが、事務局の方では特別その他にありませんか。

● 土田矢島総合支所長

今回提案されている一覧の中では、それぞれ出てきた順番と言いますか、そういうかたちで載せてありますけれども、この内容等をもう少しおおまかな大きな分類の、5つぐらいの分類に区分けたかたちでやれば、もう少し分かりやすくなるんじゃないかなと思いますので、事務方の方で今の本荘の発展計画じゃないですけども、そういった大きな項目の中に当てはまるようなかたちのもので少し整理すれば、もう少し見やすくなるかと思いますので、その辺のところは事務方でやりたいと思います。

● 正木会長

よろしくお願いします。いずれ事務方でそういう文書をお送りいたしますので、よろしくお願いします。何か委員の方々からこの際に何かご意見ご提案ありませんか。

● 佐藤公委員

特別支障が無ければ、開催時間ですが、この一日の中の真ん中の1時半から2時間くらい取られるとなかなか参加する方、時間を取るのが大変だと私も含めて思うので、午前中とか夕方とかどちらかにしていただければ非常にありがたいのですが。今日も30名中20名ということで10名がこられないということでしたので、より多くの方に参加できるような時間帯がいいのではないのでしょうか。

● 正木会長

はい。十分そういうご提案を伺いながら、検討いたします。何か他にありませんか。今のご意見のように重要な一番貴重な時間帯を取られるという部分もあろうかと思いますが、いずれ、このことも含めて矢島町全体をやっぱり皆さんのノウハウをもって考えていかなければ、重要な会議なの

でその分もご理解をいただきながらよろしく一つお願いしたいと思います。まあ十分そういうものもふまえて時間設定等も考慮してまいりたいと思います。いずれその内容によりけりで時間がやっぱり若干延びる場合等そういう場合があると思いますので、そのことも加味しながら設定したいと思います。余談になりますが前回もちょっと幹事会等にもお話しいたしましたし、この会にもしたかもしれませんが、地元出身の市会議員との懇談という部分を若干当事者にふれました。是非そういう機会を作って欲しいと、我々意見は言わないけれども皆さんの議論を拝聴して、地域のために反映をしていきたいということでございましたので、時期はやはり新年度の予算前かな、という感じもありますので、秋口か、その頃なのかなというふうにも考えておりましたので、11月という部分もありますので、最終的に遅くともその時期にセットしなければ、というふうに思っております。そういうことも含めて今後連携を取りながらグレードの高い矢島づくりをしていきたいなと思いますのでよろしくお願いいたします。そうすると今日予定されました案件を終えたわけですが、これで今日は閉じていいでしょうか。

● 委員全体

はい。異議なし。

● 正木会長

長時間にわたりましてありがとうございます。先ほど、ご提案申し上げました件についても何とか奮ってご提案をいただいて、皆さんの議論の場をいただきたいと思いますので、よろしくお願いします。ありがとうございました。

● 委員全体

ありがとうございました。

5. その他

閉会 14:50